



## とき

平成24年7月23日(月)、24日(火)、25日(水)

毎朝6時～7時

**入場無料**

(どなたでもお聞きいただけます)

## ところ

豊橋市花園町 豊橋別院

## 主催

豊橋仏教会・豊橋仏教奉賛会

※駐車場は、「花園駐車場ビル」(立体駐車場ビル)です。講演終了後、駐車券をお渡しいたします。

## 7月23日(月)『ホスピスの出会い、大切な時間』

豊橋医療センター緩和ケア部長

豊橋ホスピスを考える会会長 佐藤 健(さとつよし)先生



ホスピスとは、主に末期がんの患者への緩和ケア施設。数人に一人はかかるといわれる「がん」、そのがん患者の苦痛や死の恐怖を和らげ、人生の最終章を豊かなものにするには、どのようなサポートが必要なのか… 「ありがとう」と言い合えるお別れをするために、緩和ケアの第一線に立って直接携わってみえる先生からお話をお聞きます。

## 7月24日(火)『白隠さんの絵説法』

花園大学教授 芳澤 勝弘(よしざわ かつひろ)先生



白隠さん(白隠慧鶴(はくいんえかく)禅師)は、江戸時代中期の禅僧。臨済禅の中興の祖と言われています。現在もその教えや考えは深く受け継がれています。白隠さんの魅力は、独特の絵を用いて難しい禅の教えをわかり易く説かれたところでしょう。時空を超えていつの時代にも共通する普遍のテーマを、どのような絵で説法されたのでしょうか。

## 7月25日(水)『チベット仏教とボン教 附チベット牧牛図』

日本学士院会員、京都大学名誉教授 御牧 克己(みまき かつみ)先生



チベットには、インド仏教の流れを直接受け継いでいるチベット仏教があります。また、佛教が伝来する前からあった信仰として民族宗教であるボン教があります。禅の修行から悟りの境地を描いた牧牛図も用いて、従来あまり知られていなかったチベット語の文献を研究され、前人未踏の貢献をされた先生から興味深いお話を伺います。

平成23年に詠んだ短歌の続き(前回は23年11月号)を掲載します。

何もせずそっと見守れ大人達こころ純粹少女の涙

実も無き言葉なれども口惜しき抑へ難くて涙溢るる

雨となる二月末の日鴨川に花柄色の傘の数々

詠唱の六十年を祝ひする祖山の今日は雪風の中

ラジオより放射能漏れニュース聞く二十三年三月のこと

映像に残ることなき津波あり一万人の行方不明者

山あいの小さき駅の片隅に今を盛りと紅き梅咲く

鴨川の枝垂れ桜の枝先に堅き蕾の数多ある見る

春休み名古屋の駅のコンコース男女六人歩み軽やか

三月の三十一日知恩院犠牲者回向ただに念仏

五メートル距離を取り置きゴッホの絵二十三年四月の名古屋

ゴッホ展展示の部屋の奥の方憧れて見る彼の自画像

フィンセントファンゴッホ描く絵一枚農夫の妻の哀しき瞳

山々の桜の赤芽力あり間近に迫る華やぎの時

校門の桜の花は七分咲き入学式の白き立て札

田園の水路に沿ひて桜咲くきらきら光る水の輝き

校庭の桜花びら散る中にリトルリーグの少年の声

我が胸を細き腕にて押し出す相撲遊びの大野上人

詠唱の講習会に参加せる大野上人今宵は通夜か

満開の桜公園その先に朝日に映ゆる富士の白雪

散り残る桜の花を仰ぎ見て今年の春の無常を思ふ

新学期自転車乗りて道行けば植田の匂ひ水の輝き

混み合へる法然展の中に居て隣人二人感嘆の声

八重桜蓮華王院中庭の法然塔の石碑拝みぬ

宇治川の橋を渡りて進み行く平等院は藤の盛り日

雲薄く裾野の原を覆ふなり富士の高嶺は清廉の白

きらきらと若葉の光る増上寺詠唱講司検定の朝

颯々と白雲走る関ヶ原鎮むる山の色は黛

## 寺行事案内

### 盆大施餓鬼会（ぼんだいせがきえ）

平成24年7月29日（日） 午後2時～午後6時半

時間申し込みをして下さい。

詳細は6月号にあります。

### お盆の棚行（おぼんのたなぎょう）

8月1日より15日まで

日程・時間は葉書にてご通知します。

## お盆の迎え方

### 8月13日

#### 1. 盆棚飾り

小机または膳引き板に真菰（まこも）の筵（むしろ）または蔭（ごぎ）を敷き、仏壇の中からお先祖のお位牌をお移して安置します。

天井より女竹または苧殻（おがら）を水平に吊るし、五如来の幡（はた※1）や、鬼燈（ほおずき）を掛けます。

お位牌の前には、香炉・灯明・花立て・霊供膳・水向け皿・溝萩（みそはぎ※2）・水の子（みずのこ※3）・茄子の牛・胡瓜の馬・野菜・果物・団子・おはぎ等をお供えします。

#### ※1 幡（はた）

盆大施餓鬼の際にお渡しします。

#### ※2 溝萩（みそはぎ）

水向けの為の草花・ミソハギ科の多年草で

淡紅紫色の六弁小花を長い穂状に密生させている。

溝萩がない場合は南天の葉で代用します。

#### ※3 水の子（みずのこ）

茄子のサイの目切りと洗米を混ぜたものを蓮の葉に盛りつけます。

#### 2. 提灯飾り

お迎え提灯・家紋提灯

#### 3. 迎え火

先にお墓の前でタイマツを焚き、次ぎに自宅門前でタイマツを焚きます。

#### 4. お供物

迎え団子・お水をお供えしてお精霊（しょうろう）さまをお迎えます。

### 8月14日

3度のお膳、菓子・果物・野菜など

### 8月15日

#### 1. 3度のお膳、菓子・果物・野菜など

#### 2. 送り火

先に自宅門前でタイマツを焚き、次ぎにお墓の前でタイマツを焚きます。

#### 3. お供物

お供物（なまもの）を普仙寺門前の納め所へ納めます。

8月16日

1. 灯籠流し

牟呂市場町の柳生川の河岸にて、夜7時より。

初盆の方は無料。材料を8月13日に普仙寺で配布します。

初盆以外の方は、材料代500円。本堂に置いておきます。

8月25日

1. 魂まつり(提灯納め)

豊橋仏教会主催行事。

松葉公園にて午後5時より7時まで。

納め料2,000円以上。